

もっと身近に

共生社会

☎協働まちづくり課

コミュニティ推進室

TEL 44・3107

男女の違いを生かした、「ジェンダーダイノバージョン」

「ジェンダーダイノバージョン」って何？

ジェンダーダイノバージョン

(Gendered Innovations)とは、男女の違いや社会的・文化的性差に基づいた研究の結果を新しい製品やサービスなどに生かすことです。これによって、より多くの人の役に立つものが生まれています。その成果は、医療・化学・政策・まちづくり・教育・産業など多岐にわたります。今回は、その一部を紹介します。

医療の分野では…

かつて、医療機器は男性の体に基づいて作られており、女性の病気が見逃されることもありました。しかしながら、最近では、女性の体に合わせて設計した機器が開発され、病気の早期発見に役立っています。

また、薬による効果や副作用は性別によって異なり、その原因は単なる体格差



ではないという研究結果があります。そのため、性別にあわせて、量や成分を調整した薬も開発されました。

生活の中では…

性別に着目して生まれた、便利な商品が増えていきます。例えば、男女の体格の差を考慮し、女性でも使いやすい軽量の工具や農業機具が開発されました。女性だけではなく誰もが使いやすい商品として、人気を集めています。



「平等」と「公平」

性別にかかわらず全く同じ機会を保障する「平等」も大切ですが、ジェンダーダイノバージョンのように、性別の特性を考慮し、それぞれの状況に合わせて公正に扱う「公平」の視点も大切です。皆さんも日常的に、ジェンダーダイノバージョンについて意識してみませんか？

ふくろい 懐かしの風景

vol.31

☎生涯学習課
文化財係
TEL 23-9264

天竜浜名湖鉄道「一宮川橋梁」(川会)

天竜浜名湖鉄道は、掛川駅と新所原駅(湖西市)を結ぶ全長67・7キロメートルの、のどかな単線です。旧国鉄時代には「二俣線」と呼ばれ、大型の蒸気機関車も走っていました。

この鉄道は市内三川地区を通りますが、区間が短く、駅や長大な鉄橋もないため、当初市民には、なじみがありません。しかし、平成23年1月26日に駅舎やプラットフォームホーム、橋梁、隧道など36の施設が歴史的に貴重であるとし「国登録有形文化財」に登録されたことをきっかけに、人々の関心は高まりました。

そのなかの1つが、川会にある「一宮川橋梁」で



左側が鉄橋、右側がコンクリート橋でできた一宮川橋梁
(森町方面から撮影)

す。この橋梁は戦前の昭和15年に建設され、全長は40メートルと比較的短く、鉄橋とコンクリート橋を組み合わせた構造となっています。ここは一宮川を渡って森町方面に車両が通過する場所です。山影からゆるやかなカーブを描いて現れる電車が撮影できることから、鉄道ファン注目の撮影スポットとなっています。